



特定非営利活動法人

宝塚NPOセンターニュース

市民の手で市民活動を支える

若者の「働く」と「自立」を応援するために!!
保護者のためのキャリアセミナー

2012
September

No.72

発行人：牧里 每治
編集人：中山 光子

このニュースの編集・発送はボランティアの皆さんにご協力いただいています。



わたしとNPO

特定非営利活動法人
トライサングル

副代表 松永 裕介さん

「障がいを持って、年を重ねても、たくさんの笑顔が集まる場所にずっといたいなあ。」そんな想いの延長線上にNPOトライサングル設立がありました。

今年で僕が高次脳機能障がいという障がいを負い10年目を迎えます。

その日から僕は、高次脳機能障がいという聞きなれない障がいと生きていく事になりました。大学生で脳梗塞を発症し、今は30歳。軽度の身体障がい、言語障がい、記憶障がいが残りました。友達や先輩や後輩、親でさえ障がいを理解していると言いながら解る事ができない、見えない障がい高次脳機能障がい。

自分と同じ様に悩みを抱えている人はいないかと、地元

で高次脳機能障がい当事者の会を設立しました。高次脳機能障がいの“普及活動”をする中で感じる事があります。僕が障害を負った10年前から問題点は何も変わっていないという事実です。

当事者自身が、自分のこと自分達の障がいの事を世の人に伝えていかなければ何も変わりません。先ず自身で出来ることをする。その上で出来ないことを支援者・家族にお願いする。「変わらない問題点」を解消すべく行動したいという気持ちを高め、志を共にする仲間達とNPOトライサングルを設立しました。「社会を変える」と胸を張り、言える仲間が僕の周りには沢山います。

障がい当事者として各地で講演活動もされている松永さん。今年6月に仲間とNPO法人を設立。更に今年度は豊中市「地域人材育成事業」を受託。困難を抱えた若者たちと共に仕事づくりに従事し、9月27日には庄内でカフェをオープンしました。(編集部より)



わたしとNPO

特定非営利活動法人
コミュニティアートセンタープラッツ
代表理事 川口 宏実さん

特定非営利活動法人コミュニティアートセンタープラッツは、その名のとおりに「地域の市民文化活動を支え、創造する拠点、市民が集い交流する広場」となることを目指しています。兵庫県北部、城崎温泉の南、日本海まで車で20分という立地。近年は「コウノトリ」の野生復帰で知られるようになったJR豊岡駅前の商業ビルアイティ7Fの豊岡市民プラザの管理運営業務を一部受託し、2年目となります。豊岡市民プラザは、基本計画から市民の市民による市民のための施設と目され、プロデュース委員会とホールスタッフクラブの市民グループが運営を推進してきましたが、平成23年2月に当法人を設立、認証されまし

た。

開かれた文化施設として、人と人、まちとアートをつなぐコーディネーターの役割と、これからの時代にもっとも大切なコミュニケーション・表現・発信力を育む創造的な環境を担いたいと願っています。生きる力、希望、前に進む力や、幸福度の高さはそこから生まれてくる。そして、見えないものの価値を大切に、未来に残そうとするこのまちは、住みたいまち、帰りたいまち、訪れたいまちになると信じます。

今年、宝塚NPOセンターのご尽力により始まった「兵庫県地域づくり活動基盤整備事業（スーパーNPO育成事業）」では、但馬地方の市民活動支援、中間支援組織の育成という重要な課題解決へと歩みだしました。地域の市民グループや、NPO団体の皆様と共に勉強しながら、ネットワークを築いていきたいと思ひます。

生きづらい時代の若者たち

立ち止まってしまった若者に保護者が出来ることは 保護者のためのキャリアセミナー開催

「日本一ひきこもりを就職させる男」と中央公論8月号に紹介された井村良英氏（NPO法人育て上げネット・たちかわ若者サポートステーション所長）を講師に迎え、課題を抱える若者の保護者対象に「保護者のためのキャリアセミナー」を7月29日に開催しました。

宝塚市受託事業「若者就労支援プログラム」に定員を超えた申込みがあったこと、兵庫県受託事業「生きがいごとサポートセンター事業」に一度も働いたことのない30代40代の相談者が増加したため、保護者に対してNPOセンターができることはないかと企画しました。

参加者は92名。70代後半のご夫婦やお父様

のみの参加など、これまでのセミナー参加者とは異なる層の申込みがあり、この課題の奥深さをうかがわせるものでした。

若者が生きている「今」と言う時代は親世代の若い頃とは異なっていると理解することが、若者理解の第一歩であること。冷静な第三者の関わりが大切であるため、家族の中で処理しようと思わず相談機関を探すことが問題解決の近道になるとお話いただきました。

「心強く、一歩踏み出せる気がした」「家族だけで解決せず第三者に相談できると聞き、心が軽くなった。」と参加者の声。

保護者が若者を理解し、彼らに近づける講演会になったようです。(N)



宝塚市若者就労支援事業

職場体験実習付き就労支援プログラム

「コミュニケーションが苦手…」「長く仕事に就いていないので自信がない」など課題をかかえる若者が、コミュニケーションや働くスキルを身につけ、仕事の現場を体験することで、社会とのつながりを持ち続けることを目的として、宝塚市若者就労支援事業は4年前にスタートしました。

卒業生は約50名。毎回、不安な面持ちで参加する若者たちは、講座の回数を重ねると表情が和

らぎ、職場体験を通じ自信を取り戻していきます。その変化は、社会と繋がる「仕事」というものが人を成長させる力があると強く感じます。

今年度の受講生は13名。アサーション講座では「断る事はいけないと今まで思っていたが、断っても良いと初めて気づいた」との感想もあり、真面目すぎる彼らの一面を再発見しました。この講座が終了する2月には、自信を持って社会に羽ばたく彼らの姿が見られることを期待しています。(N)

かわにしの若者を元気にしたい！

川西市若者の自立支援事業

「夢も目標もない」「外に出るきっかけが欲しいけど、なかなかみつからない」と感じている若者が増加している時代。そのような若者が社会に一歩を踏み出そうとするきっかけづくりをするのがこの事業の目的です。「市民シンポジウム」、「里山整備体験」、「トークイベント」3つの構成でこの事業は進行します。里山整備体験では炭作りや間伐、笹狩りなどを通して、仲間や地域の人たちとの交流をはかり、トークイベントは公募した

20代の男女5名のボランティアと一緒に企画を練り、市民の皆さんに来ていただけることを目指しています。市民シンポジウムは、「生きづらい時代の若者たち」をテーマに、斎藤環先生にご講演をしていただき、誰にでも起こりうる「ひきこもり」に対する理解を深めます。

この事業を担当する私たちも彼らと同じ20代。この事業が終わる3月には、参加してくれた人たちと一緒に、より成長していきたいと考えています。(T)



ざっくばらんな「きょう・どう？井戸端会議」 宝塚市市民活動促進支援事業



本年度宝塚市市民活動促進支援事業の大切なキーワードに「協働」があります。協働に欠かせないのが「対話」。ざっくば

らんな会話から予期せぬ発見やつながりが生まれることがあります。

「きょう・どう？井戸端会議」はそんな気さくに話せる有意義な場を市民の皆さんに提供したいという思いから生まれました。第1回目は12名から始まった会は3回目で16名に。老若男女

様々な方にお越し頂いています。ご自身の活動についての紹介や普段の生活で感じたこと等、簡単な自己紹介と共に「今これが気にいってます」というような普段着の会話を糸口に会は進行。

親子でご参加頂き、特に会話にご参加はされずとも最後に「こういう場に来ること自体が嬉しい」とのご感想を頂いたり、30代の参加者の方からは「高齢化問題一つにしてもまずは自分のこととしてどうするのか、どうしていくのかを考えたいし、考えています。」という力強い発言も。

開催は毎月第4金曜日。気軽にお越しください♪(Y)



センターの経験とノウハウを但馬へ！ 地域づくり活動支援事業

本年度、但馬地域における「地域づくり活動支援事業」を兵庫県から受託し実施しております。豊岡駅前の市民プラザにおいて定期的な講座と相談会を開催し、NPO 団体や市民の方々への活動の支援を行うと同時に、但馬地域における NPO 活動の相談窓口を作る事が大きな目標です。一年間を通して継続的な支援業務を行うことにより、地域の方々に窓口を認知してもらい、安心して立ち寄れる相談窓口を目指します。10月には、但馬地域の NPO 団体や行政機関が、協働のありかたを模索する「但馬 NPO ネットワーク会議」を市民プラザで開催します。又、養父市大屋町、新

温泉町浜坂では、「非営利組織の地域づくりカアップ講座」を開講します。当センターの経験やノウハウが、宝塚だけではなく、兵庫県の各地で活かされています。(W)



宝塚NPOセンター報告情報より

相談情報

(4月1日～8月31日まで)

・ 面接者数	799 名
・ 電話 FAX 相談件数	1319 名
・ メール相談件数	765 名
・ 相談者数合計	2883 名

求人求職者・起業団体情報

(4月1日～8月31日まで)

・ 新規求人数	250 名
・ 新規求職者数	169 名
・ 就職成立者数	120 名
・ 起業・拡充団体数	15 団体

若者のいまを考えるフォーラム開催！

ニート・ひきこもり・新型うつ…若者が抱える課題とどう向き合っていけばいいのでしょうか？

今という「生きづらい時代」に生き、将来の社会を支えていく若者たちが抱える悩みや課題を地域の皆さんと共に分かち合えるよう、フォーラムを開催します。

- ・日時 12月11日(火) 14:30～17:30
- ・場所 アステホール(阪急 川西能勢口駅前 アステ川西6階)
- ・参加費 無料 (定員200名)
- ・基調講演 斎藤 環さん「生きづらい時代の若者たち」
精神科医 医療法人社団爽風会佐々木病院診療部長
- ・パネルディスカッション「困難を抱える若者によりそう」
コーディネーター 斎藤 環さん
パネリスト 田中 俊英さん NPO 法人淡路プラッツ代表
井村 良英さん たちかわ若者サポートステーション所長
貴戸 理恵さん 関西学院大学 社会学部社会学科助教



講師 精神科医 斎藤 環さん

お申込み、お問合せは・・・宝塚NPOセンターまで

ご支援ありがとうございます(順不同、敬称略 期間:2012.9.15まで)

●新たに入会された皆さん

【団体正会員】エスリード宝塚自治会、Crative Debate for GRASS ROOTS 【賛助会員】中川慶子

●寄付をいただいた皆さん

ろうきんNPO 寄付システムご利用の皆様、鶴丸悌二、名取千里、マイスター工房宝梅の会 原啓、匿名希望3名

会員募集・継続のお願い

宝塚NPOセンターは、「市民が市民を支える社会」を作るために、市民活動の支援をしています。

人がつながり仲間になり、仲間がつながり地域になる、地域がつながり社会になる、その全ての場面を支えるセンターでありたいと考えています。私たちの活動を、会員として一緒に支えて下さいますようお願いいたします。

	個人正会員	団体正会員 (NPO 法人他)	法人正会員	賛助会員
会費	10,000 円	10,000 円	30,000 円	3,000 円

振込先

	銀行振込	郵便振替
銀行名	三菱東京 UFJ	
支店	阪急宝塚出張所	
口座番号	普通預金 3629422	00930 - 8 - 77117
カナ	トクテイヒエイリ タカラヅカエヌピーオーセンター	タカラヅカエヌピーオーセンター
口座名義	特定非営利活動法人 宝塚 NPO センター	宝塚 NPO センター

編集後記

ボランティアとして紙面づくりに初参加。言いたい放題を少しずつ形にしてみました。みなさま、いかがでしょうか？

(コ)

特定非営利活動法人 宝塚 NPO センター

〒665-0845
宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F
Tel: 0797-85-7766
Fax 専用: 0797-85-7799
利用時間: 9:00 ~ 18:00
休館日: 月・日・祝日・年末年始
Email: zukanpo@hnpo.net
URL: http://hnpo.net

生きがいしごとサポートセンター-阪神北
Tel: 0797-87-4350
Fax 専用: 0797-87-7799
Email: cdc@hnpo.net
URL: http://cdc.hnpo.net
紙面に関するご意見・ご要望を左記までお寄せください。